

第68号

# 浦安とみおか川柳会

## 8月例会結果

場所：美浜公民館 2階第一会議室

日時：令和3年8月10日（火）

13時00分～16時00分

講師：佐藤青樹

出席者：塩見和昭、高野平太、谷口勝、  
長谷川智、福田次郎、三浦みちえ、  
森山裕子、山岸順、山口昇柳、  
大西旅人

### 課題「延長」・互選

講評 \* 佐藤青樹

#### 「1点」

ワクチンが延長戦のクローザー

勝

ちよつと作者の意図が読み切れない。参考一…ワクチンが足りず接種が延ばされる 参考二…やつと来たワクチン接種を終わらせる

歌が好き昭和名曲唄い込む

昇柳

昭和の歌謡名曲が好き、延々と唄いこんでるという意か。参考…昭和歌謡好きでマイクをハナサーズ

延伸へ利権うごめく地下の闇

和昭

上五は何の延伸？中七は何の利権？

延長ないプロ野球こそUSA習え

昇柳

この句は自由律句？自由律句を良しとする句会では許される句か。

浜の死闘十八回で燃え尽きず

和昭

出来ている句だが、「浜」は横浜ベイスターズか？高校野球もあるのでは。

延長はもうコリゴリのコロナ戦

みちえ

下五の「コロナ戦」が苦しいのでは？参考一…コロナ禍に懲りているのに第四波 参考二…新株が出ててコロナ禍収まらずなどどうか？

最後まで有無観客が決めきれず

智

一読明快の句。参考…最後まで観客有無を決めきれずなどはどうか。

寿命延び出番ですねと介護ロボ  
一読明快の句。

平太

#### 「2点」

PKを外す恐怖にすくむ足

和昭

上手く出来た句だが、延長戦の結末でのPK戦を読み込めば良くなるのでは。参考…PK戦外す恐怖にすくむ足 ではどうか。

番組の延長にぎる視聴率

順

一読明快の句。

延命はしないモルヒネだけでいい

平太

一読明快の句。

サクラ散り延長戦が待っている

順

桜が散って何の延長戦が待っているのか？この句を読む人には理解できないのでは。

明けやらぬまん防老いを持って余す

裕子

一読明快の句。コロナ明けが先かお迎えが先か、船旅も温泉旅行もしないうちにお迎えがきてしまうのか。

人生の仕上げに欲しい円熟味

平太

一読明快の句。

#### 「3点」

会う度にまた会いたいと思う人

裕子

参考…会う度にもっと一緒に居たいひと ではどうか

タコ足の配線無用コードレス

勝

一読明快だが、標語っぽい句と取られないか。参考…タコ足の配線注意するテレビ などはどうか。

課題「延長」・互選 続き

「4点」

延長の手綱も切れた夫婦舟

みちえ

比喩が効いた上手い句。

医の進歩百歳までは視野に入れ

みちえ

参考：平均寿命百歳目指す医や薬 などはどうか

延命をしない決断ひきのばす

順

一読明快の句。参考：延命をしないつもりがまだ迷いなどはどうか。

接種後の突如華やかカレンダー

しだれ

一読明快の句だがリズム感はどうか？参考：接種後に突如華やかカレンダー などではどうか。

「5点」

延命はいらぬと壁に貼っておく

裕子

一読明快、上手くできた句。

少年を鉄路の先が引き寄せる

次郎

一読明快、上手くできた句。

「8点」

風向きを読んで器用に生き延びる

平太

「風向き」は何処の何の風向きなのか？参考一：社の風を読んで器用に生き延びる 参考二：ボスの顔読んで器用に生き延びる などではどうか。

「選外」

延命は謝絶だがワクチンを打つ

一読明快の句。

若者はコロナ恐れず闊歩する

一読明快の句だが、「延長」を明確に表現できないか。

参考：第五波を恐れず闊歩するヤング

接種後の孫と一緒のサクランボ

この句、課題に寄りかかっていないか。

宣言を引き延ばすのが政治らし

下五が少々苦しく、リズム感がよくない。参考：宣言を延ばしワクチン無い政治

寿命延び定年延びてほっとする

一読明快の句。参考：定年が延びて安心する女房

ワクチンの接種が延びて不安強

下五が少々苦しい。参考：ワクチンの接種が延びて増す不安

この先が黄泉の国なら寄り道を

老人や生死をさまよう方の気持ちのわかる句。

接種後の孫との散歩手をつなぐ

この句、課題によりかかっていないか？参考：接種後の待機時間が長すぎる などではどうか。

デカ盛り戦あともまだやる激辛で

下五、リズム感悪い。参考一：デカ盛に続き激辛競わせる 参考二：デカ盛に続き激辛競う店

詰込みの受験のあとの空虚感

一読明快の句。

【溜り場】川柳六大家（5）楳元紋太（すぎもと もんた：1890～1970）

神戸市花隈の生まれ、18歳頃から川柳を新聞に投句。昭和4年にふあうすと川柳社の代表、編集発行人となる、などとモノの本にある。「川柳は人間である」「人間が川柳を作り、川柳が人間を作るのだ」を標榜し、当時としては一歩前を進んでいたともある。以下は紋太の作品。

よく稼ぐ夫婦にもある一休み（句碑）

弁当の一粒までも箸うごく

生きている証拠にたまる領収書

シャボン玉こらえきれない身に生まれ

世の中にお前と呼ぶはお前だけ

ふらり出て星を見ているつま楊枝

親類の出来事ほどにニュースきく

金かけず妻がそだてた花ばたけ

「秀」

円満は見ざる言わざる逆らわず

入院費保険で保証妻の手に

オバマ氏の鶴も黙とう原爆忌

当選券握り続ける無観客

罪悪感五円ぶんありレジ袋

昇柳

智

裕子

順

旅人

「客」

変異株のおかげでギリシヤ文字憶え

無観客は想定内の椅子模様

おもてなしバブルの中で見える日本

いざ五輪見せるト書きのないドラマ

灰汁のない噂ばなしは味気ない

旅人

和昭

和昭

裕子

平太

「人」

米野菜お湯が洗っている猛暑

裕子

「地」

澄んだ瞳で正義を知った紙芝居

平太

「天」

古希すぎて青い理屈に未だ挑む

平太

現代短歌…現代短歌の中には諧謔やこっけい、意外性を含んだものも少なくな  
く、それらは川柳作句にも参考になります。以下は穂村弘「ぼくの短歌ノート」  
(講談社文庫) 中の引用短歌の一部です。

- ・ 缶詰の消費期限の日の空は晴れか曇りか日本はあるか (藤原健一)
- ・ 銀杏を食べて鼻血が出ましたかああ出たねと智恵子さんは言う (野寺夕子)
- ・ ボールペン中身のインク見えるのに書けないいらだちぐるぐるを書く (吉田洋和)
- ・ 草っぱらに宮殿のごときが出現しそれがなにかといへばトイレ (小池光)
- ・ 「じいちゃんはいつごろしぬのおとうさん」満四歳の東京の孫 (鉄本正信)
- ・ どうこうと思うけれど曾孫は「ばあちゃん、男か女か」と聞く (香城清子)
- ・ 将来の夢はなあにと孫が聞く 脳内検索ヒット0件 (山本章)
- ・ お一人様三点限りと言われても私は二点でピタリと止めた (田中澄子)
- ・ あの青い電車にもしもぶつかればはね飛ばされたりするんだろ (永井祐)
- ・ 好きだった雨、雨だったあのころの日々、あのころの日々だった君 (柊野浩一)
- ・ 雨の県道あるいてゆけばなんでしようぶちまけられてこれはのり弁 (斎藤斎藤)
- ・ かゆいとこありまひえんか、といいながら猫の頭を撫でておりたり (小池光)
- ・ 北風をきって浣腸買いに行くこれも仕事のひとつ秘書なり (安西洋子)
- ・ UFOが現れたとき専務だけ「友達だよ」と右手を振った (須田寛)
- ・ 「おがあざんおとうざんといづまでもながよく」と祝辞を述べる夢の中 (九螺ささら)
- ・ 佐野朋子のばかころしたると思いつつ教室へ行きしが佐野朋子はをらず (小池光)
- ・ 殺したいやつがいるのでしばらくは目標のある人生である (柊野浩一)
- ・ 「芸をしない熊にもあげる」と手の甲に静かにのせられた角砂糖 (穂村弘)
- ・ 月を見つけて月いいよねと君が言うぼくはこっちだからじゃあまたね (永井祐)
- ・ スカートをはいて鰻を食べたいと施設の廊下に夢が貼られる (安西洋子)

課題「気合い」・二人選 高野平太選

「秀」

青汁で気合を入れる二日酔い  
愛情が空回りする気合い入れ  
ワクチンへ気合を入れる高齢者  
化粧する目元だけが気合い入れ  
マスク付け目力備えいざデート

「客」

のうのうと有給休暇綱にカツ  
これからと延長戦にカツを入れ  
飲みすぎて気合い入れても千鳥足  
さぼり過ぎ一気の作句誌上会  
気合い入れ危険承知で接種受け

「人」

梅干とお粥で気合い七度五分

「地」

村祭り意気込みだけは皆若衆

「天」

梅雨晴れ間さあ頑張ろう洗濯機

(自句) 意気地なし付いて来いよと何故言えぬ

鬼気迫る妻が無口になって来た

気合い入れ我家の鬼と一勝負

課題「気合い」・二人選 山岸 順選

「秀」

白鳳の進退かけた気合い勝ち  
選挙戦 勝負服着て選挙カー  
梅雨晴れ間さあ頑張ろう洗濯機

「客」

気合いだ気合 応援席は燃えに燃え  
青汁で気合いを入れる二日酔い  
ワクチンへ気合いを入れる高齢者  
プレゼンに握るゲンコのリキ入れて  
村祭り意気込みだけはみな若衆

「人」

気合い入れ我家の鬼と一勝負

「地」

10秒を切る決勝の位置につく

「天」

時間です顔をたたいて塩を撒く

(自句) 飲みすぎて気合入れても千鳥足

我れ先と老若男女腕まくり

鼻先の人参競う棒グラフ

【掲示板】

1. 11月例会のお知らせ

- ・日時 : 令和3年11月9日(火)  
13時00分～16時00分
- ・場所 : 美浜公民館第一会議室
- ・課題「わくわく」 : 互選 3句
- ・課題「セット」 : 二人選 3句
- ・自由吟 3句

2. 連絡事項: 「犬吠」8月号 千紫万紅 に、山口 じだれさんの五句がトップに掲載されました。おめでとうございます。

抜歯する老いた体が欠けてゆく  
手作りの料理体に染み渡る  
スムースの裏に不安が交差する  
ドック受け赤字だらけにふさぎ込む  
術後の眼空の青さに感動す